

ヒト味覚の修飾認知メカニズムの解析

1. 臨床研究について

九州大学病院では、病気に関係する遺伝子や薬の効き目に関係する遺伝子を見つけ出したり、遺伝子技術を取り入れた病気の診断のための技術開発を行ったりしています。その一つとして、九州大学大学院歯学研究院口腔機能解析学分野では、現在健常者さんを対象として、ヒト味覚の修飾認知メカニズムに関する「臨床研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2029年10月31日までです。

2. 研究の目的や意義について

最近、甘味（砂糖）やうま味（昆布やカツオだし）の受容体 T1R という遺伝子の型の違いにより、それらの感受性に違いがあることがわかってきました。甘味はエネルギーとなるカロリー源を、うま味は身体を作るタンパク質を検出し身体に取り入れるべきか否かを決定させる働きがあるので、これらの感受性の違いは体の栄養状態に影響し、さらに肥満や糖尿病とも関連する可能性が考えられています。この他にも味覚に関連する遺伝子はたくさんあり、それらひとつひとつの遺伝子型と味覚感受性との関係について調べることにより、味覚と栄養状態さらには病気（栄養失調や肥満・糖尿病など）との関係が明らかになる可能性があります。このような病気を引き起こしやすい遺伝子の配列の違いが見つかれば、将来、この病気のさらなる治療法、治療薬の開発に役立つと考えています。

私共はこの研究によって、診断技術を向上させ、原因となる遺伝子を探し出すなどの努力を続けていきます。

3. 研究の対象者について

研究許可日から 2029年10月31日までにこの味覚研究にご同意頂ける方、約600名を対象とさせていただきます。

また、下記の先行研究にご参加いただいた428名も対象とさせていただきます。

許可番号：392-00

課題名：ヒト味覚修飾認知メカニズムの解析

許可期間：平成17年10月14日から平成22年10月13日

本研究に使用する試料・情報の取得期間：同上

研究の対象者となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、事務局までご連絡ください。

4. 研究の方法について

この研究への参加に同意いただきますと、味覚検査行なった後、頬粘膜を小さなブラシで擦り、ブラシについた細胞からDNAを採取させていただきます。

研究に先立ち、個人情報の漏洩を防ぐため、あなたの個人情報を抜き取り別に管理します（匿名化といたします。）

提供していただいた DNA から遺伝子を調べます。これにより、味覚感受性の個人差の原因となる可能性がある味覚受容関連遺伝子の型がわかります。この遺伝子の型が他の人とどのように違うかを調べ、味覚感受性の個人差との関係を調べます。

[取得する情報]

味覚検査結果、年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報（高血圧、糖尿病）、妊娠、喫煙、飲酒歴

5. 研究への参加を希望されない場合

この研究への参加を希望されない方は、下記の相談窓口にご連絡ください。

なお、研究への参加を撤回されても、あなたの診断や治療に不利益になることは全くありません。

その場合は、収集された情報などは廃棄され、取得した情報もそれ以降はこの研究目的で用いられることはありません。ただし、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。

6. 個人情報の取扱いについて

研究対象者の DNA、測定結果等をこの研究に使用する際には、研究対象者のお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。研究対象者と研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、九州大学大学院歯学研究院口腔機能解析学分野内のインターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、同分野の職員によって入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。

この研究によって取得した情報は、九州大学大学院歯学研究院口腔機能解析学分野・教授・重村 憲徳の責任の下、厳重な管理を行います。

ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

7. 試料や情報の保管等について

[試料について]

この研究において得られた研究対象者の血液や病理組織等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学大学院歯学研究院口腔機能解析学分野において同分野教授・重村 憲徳の責任の下、5年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

[情報について]

この研究において得られた研究対象者のカルテの情報等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学大学院歯学研究院口腔機能解析学分野において同分野教授・重村 憲徳の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

また、この研究で得られた研究対象者の試料や情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実

施される医学研究にも使用させていただきたいと考えています。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

8. この研究の費用について

この研究に関する必要な費用は、文部科学省科学研究費補助金等でまかなわれます。

9. 利益相反について

九州大学では、よりよい医療を社会に提供するために積極的に臨床研究を推進しています。そのため資金は公的資金以外に、企業や財団からの寄付や契約でまかなわれることもあります。医学研究の発展のために企業等との連携は必要不可欠なものとなっており、国や大学も健全な産学連携を推奨しています。

一方で、産学連携を進めた場合、患者さんの利益と研究者や企業等の利益が相反（利益相反）しているのではないかとという疑問が生じることがあります。そのような問題に対して九州大学では「九州大学利益相反マネジメント要項」及び「医系地区部局における臨床研究に係る利益相反マネジメント要項」を定めています。本研究はこれらの要項に基づいて実施されます。

本研究に関する必要な経費は文部科学省科学研究費補助金等による研究費であり、研究遂行にあたって特別な利益相反状態にはありません。

利益相反についてもっと詳しくお知りになりたい方は、下記の窓口へお問い合わせください。

利益相反マネジメント委員会

(窓口：九州大学病院 ARO 次世代医療センター 電話：092-642-5082)

10. 研究に関する情報の公開について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

また、この研究では、学会等への発表や論文の投稿により、研究成果の公表を行う予定です。

11. 特許権等について

この研究の結果として、特許権等が生じる可能性があります。その権利は九州大学及び共同研究機関等に属し、あなたには属しません。また、その特許権等を元にして経済的利益が生じる可能性があります。これについてもあなたに権利はありません。

12. 研究を中止する場合について

研究責任者の判断により、研究を中止しなければならない何らかの事情が発生した場合には、この研究を中止する場合があります。なお、研究中止後もこの研究に関するお問い合わせ等には誠意をもって対応します。

13. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所	九州大学大学院歯学研究院口腔機能解析学分野
研究責任者	九州大学歯学研究院口腔機能解析学分野 教授 重村 憲徳
研究分担者	九州大学歯学研究院口腔機能解析学分野 講師 實松 敬介 九州大学歯学研究院口腔機能解析学分野 助教 高井 信吾 九州大学歯学研究院口腔機能解析学分野 助教 川端 由子

14. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	担当者：九州大学大学院歯学研究院口腔機能解析学分野 講師 實松 敬介 連絡先：〔TEL〕 092-642-6312 〔FAX〕 092-642-6312 メールアドレス：sanematsu.keisuke.216@m.kyushu-u.ac.jp
---------------	--

【留意事項】

本研究は九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会において審査・承認後、以下の研究機関の長（試料・情報の管理について責任を有する者）の許可のもと、実施するものです。

九州大学大学院歯学研究院長 西村 英紀